

■各地域での主な意見(特徴的な意見、具体化方策につながる主な意見)

意見の分類	各地域での意見(黄色…各地域の特徴的な意見)						具体化方策案
	■はすはな中学校区	■第二中学校区	■第三中学校区	■第四中学校区	■第五中学校区	■第七中学校区	
新規整備・機能の充実	・駅周辺のエリアマネジメントに伴うOSの確保			・学校の統廃合や団地建替えに伴うOSの確保		・市街化調整区域の開発にあわせた公園整備	関連事業に伴う新たな公園等の整備
		・駅周辺の公園の無いエリアでの工夫					公園の少ないエリアにおける対応
		・北島東町公園の拡張	・柳町公園など、中くらいの公園のリニューアル(広場の配置など)		・四宮公園のリニューアル(体を思い切り動かせるアクティブ公園) ・高架下公園の拡張	・北打越公園のリニューアル(死角を無くす、高齢者や障がい者も利用しやすく、幼児も遊びやすく)	既存公園のリニューアル
	・スケートボードなど、「ここならでき」という公園づくり				・弁天池公園の充実(多様な遊び(遊具は10分で飽きる)の場合)		弁天池公園のリニューアル・利活用
				・小さな公園をまとめて広い公園を確保(廃止の代替として)			小さな公園の集約
機能の特化・分担	・複数公園で一つの公園のように使う ・子どもの年齢層に応じた使い分け				・小さな公園の使い分け、すみ分け、特化(子どもの年齢層に応じた遊び、利用者や利用内容に応じた特化)	・利用者の少ない公園は、利用しやすい雰囲気づくりを(ベンチを置くなど、〇〇がてら休憩しやすく) ・利用者と利用内容に応じた使い分け	小さな公園の機能の特化・分担
	・立ち寄り利用できる公園とそのネットワーク化(舗装広場+ベンチだけでもOK)				・イベント、防災など専用の広場化 ・ベンチだけの公園もOK		
		・小中公園の個性化と使い分け ・中くらいの公園は体を動かせる遊び				・大中小公園の使い分け ・子どもの遊び場の多様化 ・中くらいの公園の特化(ボール遊び、特徴的な遊び)	公園の規模に応じた機能の特化と使い分け
		・四阿や木陰のある公園					機能の充実
		・小学校区ごとに最低限の機能は揃ってほしい					小学校区単位での機能の確保
			・駅周辺エリアと住宅地エリアでのすみ分け(駅周辺⇒市の顔、来訪者、観光、若者/住宅地⇒地域コミュニティ、自然とのふれあい)				周辺環境に応じた機能の特化・分担
			・駅周辺では、コーヒー片手に待ち合わせできるような公園があれば若者も使うと思う				
機能の転換(廃止も含む)	・菜園としての活用			・使われていない公園の活用	・使われていない公園の活用(近くの公園利用のための自転車置き場など)		公園の機能転換
	・活用も難しい公園の廃止の検討	・どこにあるのかもわからない公園の機能転換、廃止		・活用策の無い小さな公園の廃止			公園の廃止
他施設・他分野との連携(公共公益施設等を活用した代替性の確保)	・小学校や学校跡地のグラウンドを開放し、ボール遊びの場として利用						学校等と連携したボール遊びの場の確保
	・コンビニ横の公園の活用(休憩など)	・自治会館や交流サロンなど施設併設型の公園の利活用(雨天利用など)	・自治会館など施設併設型の公園の利活用(チェアリングなど)	・自治会館併設の公園の利活用(ホームグラウンドとしての公園)	・自治会館併設の公園は遊具が無くてもよく利用される		施設併設型の公園の利活用
			・近隣の商業施設や店舗との連携(ワゴン出店など)		・事業者連携(事業所、工場など)		事業者等と連携した公園の利活用
防災・安全安心	・密集市街地におけるOSとしての機能の確保						密集市街地における防災機能の確保
		・防災にも役立つ遊具			・防災倉庫の置き場として	・災害時に役立つ施設(防災倉庫、公衆電話など)	地域防災力を高める機能の充実
		・中高生がたむろしない、死角のない公園	・人の目がある、安心できる公園	・明るい公園(植栽の管理、見通し確保)	・入口は2箇所が安心		安全に、安心して利用できる公園づくり
					・公園とそれ以外の場所をつなぐ動線確保が防災にもつながる。		公園までの避難経路の確保

意見の分類	各地域での意見()…各地域の特徴的な意見)						具体化方策案
	■はすはな中学校区	■第二中学校区	■第三中学校区	■第四中学校区	■第五中学校区	■第七中学校区	
ネットワーク・地域資源		・第二京阪沿いは散歩ルートとして人気 ・古川沿いの空きスペース？	・第二京阪沿いは散歩ルートとして人気			・第二京阪沿いは散歩や生活動線 ・第二京阪沿いの余り地？の活用	第二京阪道路沿いの公園の活用 空地の活用
	・複数の公園を巡るルート設定(散歩、おしゃれスポット巡り)			・緑道、歩道、水路を活用した、公園をつなぐネットワークルートの設定+ルート上に休憩スポット⇒「健康歩き道」	・公園とそれ以外の場所をつなぐ、人が集まりやすい動線づくり(散歩だけではなく、イベントや防災のためにも)	・幹線道路よりも、車の少ない住宅地内の生活動線を活かしたネットワークの形成	公園とその周辺の地域資源を活用したネットワークの形成
利活用	・公園でキッチンカー+地域のカフェやおしゃれスポットを巡るモデルゾーン	・キッチンカー、マルシェ			・新しいことにチャレンジできる公園(よるこん、アート・ダンス・音楽イベント)、若い人(大学生など)も楽しめる公園		大人も楽しめる公園の利活用促進
		・雨天時も利用できる公園					施設併設型公園の利活用
			・地域の人が普段使いしやすい公園(椅子を持ち込んで井戸端会議)				地域ルール
			・人が集まるきっかけになるしかけ(例えば菜園)			・自治会管理で菜園利用	コミュニティを育む公園づくり
利用ルール・マナー	・怒られずにボール遊びができる公園	・ボール遊びができる公園(種類、場所でルールづくり)	・ボール遊びの利用ルール	・ボール遊びの利用ルール(特に中高生の遊び場の確保)	・ボール遊びができる公園(東小学校での取り組み)	・球技利用のマナー違反(大人の野球利用)	ボール遊びの地域ルールの設定
		・中高生の遊び場になる公園(北打越公園)				・グラウンドや広場の分散利用(曜日、時間、場所でのすみ分け、例)11時まではグラウンドゴルフ、お昼からや休日は子ども達のために)	グラウンドや広場のすみ分け
協働・マネジメント	・組織ではなく、集まるきっかけとなる活動			・組織ではなく、集まるきっかけとなる活動			市民主体の利活用の促進、しくみづくり
	・子ども達がボール遊びできるように、パパママでマネジメント(校庭開放)				・ゲートボール場の利用者による公園管理で、他の利用者との交流		利用者管理による公園の利活用の充実
		・ボール遊びは地域の人の見守りや理解など、地域が寛容でないといけない					安全に、安心して遊べる公園
			・やりたいことを、やりたい人ができる公園、使えることの周知				市民主体の利活用の促進、しくみづくり
					・プロの手による適切な植栽管理	適切な植栽管理(利用面、安全面)	

■利活用に関する個別のアイデア

- ・きれいな公園(小さな子どもを安心して遊ばせられるように)
- ・ホームグラウンド感のある公園
- ・ビオトープ、いきもの観察の場
- ・大人の居場所(密集市街地の小さな公園)
- ・駐輪場化(使われていない公園の活用)
- ・災害時にも役立つ遊具(防災遊具、電話ボックス)
- ・周辺店舗によるワゴン販売、マルシェ、カフェ出店など
- ・ステージ利用(ダンスの練習、発表会など)
- ・初心者キャンパー向けのキャンプ体験
- ・聖地になる公園(汽車⇒鬼滅)
- ・コミュニティガーデン、菜園(人が集まるきっかけとして)
- ・テレワークの場
- ・チェアリング(地域の人々の普段使いとして、椅子などを持ち込めるように)

…など